

国内外ゴルフツアー記 前編

国内ツアー記③

廿日市市本町／外科・胃腸科

芸南医師同好会 第2代会長 藤解 堯文



芸南医師同好会
会報 no.242
(題字は筆者)

芸南医師同好会会報 No.242 (2020年版、後編 2021年3月20日発行) に掲載された同原稿を藤解先生のご許可を得て、数回に分けて連載します (今回はその第3回です)。

なお、文中のGMAは芸南カントリー倶楽部の医師同好会「芸南医師同好会」の略称です。

◎函館空港エリア：ここは活火山の駒ヶ岳の裾野に広がる大沼国定公園内のゴルフ場がすばらしい。『北海道C.C大沼コース』『大沼レイクG.C』『大沼CCプリンスコース』等いずれも北海道らしいコースで、美しい駒ヶ岳を眺めながらのプレーが楽しい。函館大沼プリンスホテルがいいし便利が良い。いずれも計3回は行っている。

忘れがたいのはある年の盆、函館に行ったとき、津軽海峡に面した海辺のレストラン「海帆亭」に行ったときのことだ。窓の外に

我々客から投げられる餌を求めて乱舞する沢山のカモメを見ながら蟹、ウニ、イカ、貝、魚……など北海の海の幸をたらふく食べ過ぎ2階から降りる時手すりに両手でつかまりながらよろよろ降りた記憶は生々しい。また行きたいレストランである。函館市内、五稜郭、トラピスチヌ修道院……etcの観光、湯の川温泉に泊まって、函館山の夜景、函館市場、更にラウンドの後には大沼小沼をボートで疾走等、楽しい思い出がある。



大沼レイクG.C



ウィンザー・グレートピーク・オブ・トヤマ

◎支笏・洞爺湖エリア：2008年洞爺湖サミットの会場となる予定が決まっていたザ・ウィンザーホテル洞爺には2年連続で計3泊したが、確かにこのホテルはここからの眺望も雰囲気もサービスも最高級で、すばらしいの一語に尽きる。私の経験では国内最高のリゾートホテルかも(?)。ここのフレンチレストランは超有名。

緯度が高く夏場でもあったせいか、なかなか沈まない大きな夕陽、沈んだ後もなかなか暮れない、消えない夕焼け雲を見ながらのフレンチは最高の気分であった(でも料金は高いよ)。今でも網膜に焼き付いている。展望風呂もすごく良かった。ホテル隣接の『ウィンザー洞爺G.C.』や近くの『室蘭

C.C.』『樽前C.C.』(2回)(いずれも日本女子オープン開催会場)も回った。

◎釧路空港エリア：『釧路C.C.西コース』、さらに『鶴居コース』と言われる東コースをプレー。ホテルに帰る途中で釧路湿原に立ち寄り散策しながらの楽しみがある。釧路の夏は確実に涼しいのでどこにも冷房設備なんてないし朝は長袖のトレーナー着込んでスタートしたほどである。どちらも良いコースであった。次いで阿寒湖へ、『阿寒C.C.』でラウンドの後阿寒湖を臨む温泉ホテルの屋上の展望露天風呂、阿寒湖遊覧し、マリモも見物。さらに翌日は屈斜路湖を経て摩周湖へドライブ。

霧の摩周湖でなく好天でその神秘的な湖も



ホウライC.C



樽前カントリークラブ



大雪山 C.C



フォレスト旭川 C.C

堪能。ゴルフと観光両方の欲張り旅行である。

◎旭川空港エリア：ここでは『大雪山 C.C』『フォレスト旭川 C.C』をプレーする傍ら旭川市内、旭岳温泉、層雲峡温泉と泊まり、大雪山系の旭岳、黒岳への登山(?)も果たした(ロープウエーに乗ってではあるが……)。さらに世界自然遺産の知床半島まで長距離ドライブ。オホーツクの海をクルージングしながら海から、そしてウトロ温泉に泊まった(2泊)。翌日にはさらに深い知床の山中に分け入って山から知床の自然を満喫すると共に海の幸も堪能、5泊6日の中身の濃いお盆ゴルフ&観光&グルメツアーであった。その他を含め北海道のゴルフコースはざっと数えて計25コースくらいは行っているかな？(25年くらいは通いつめているので)。

《東北地方》

栃木県的那須高原に平成18年の盆に行った。涼しいのかと思ったが広島と差がなかったのが残念。有名な『ホウライ C.C』と『西那須野 C.C』の2コース回ったが共に人気ランキング上位を占めるだけあってなかなかのものだったが遠いのが難点か。

《関東地方》

茨城県の『セゴビア G.C』が印象に残っている。南欧調で湖と池バンカーが多く、池に浮かぶアイランドグリーンは美観に優れ面白い。ここでのショートホールで女子プロツアーの福島晃子が3~4回池ポチャして12点(?)位たたいたコースとしても有名。またバンカーの辺縁の造りが樽木のような材木でできていて、そこでのボールの跳ね方如何で天国と地獄の違いがあるのもユニークである。面白いので2回



西那須野 C.C



セゴビア G.C

行った。他に『スプリングフィールズG.C』に2回。これら2回とも呼んでくれた現地開業のメンバーの先生（松本隆允先生の大学の同級生）は同年齢であるが、3～4年前に大腸癌で亡くなられたのはショックだった。やはり出掛けられる時に行きたいところへ行っておくべき

との意を強くしたものである。千葉県では『カレドニアンG.C』の花が綺麗だったのが印象深くともいいコースであった。名門『鷹の台G.C』『袖ヶ浦C.C』にも行ったが名門の名に恥じない良いコースだったとの印象が残っている。（つづく）（とうげ たかふみ）

◇◇コーヒー ブレイク◇◇

話変わるも詳細は割愛するが、冬の北海道でのスキーは芸北エリアの比ではなく、計10シーズン位行っただろうか。ニセコ（アンヌプリ、東山、ヒラフ）、ルスツ、札幌、トマム、富良野とスノーリゾートで家族と共に何度か正月を迎えた期間がある。北海道スキーもゴルフに負けず劣らず楽しいものである（松本春樹先生のカナダ、スイス……etcのスキーツアーには及ばないが）。ゲレンデはもちろん雪景色の美しさと、ゲレンデに建つ大型リゾートホテル（旧ホテル日航アンヌプリ、旧ニセコ東山プリンスホテル、新富良野プリンスホテル……etc）等に年末年始何回か滞在したがどこも素晴らしい。温泉のすばらしさといいどれを取っても非日常的空間と時間が満喫でき十分充電機能を持っている。この充電期間があるから、またこれらを楽しみにできるからこそ日常の煩忙さに耐えられると今まで考え実行してきたのである。



スプリングフィールズG.C



カレドニアン G.C